

平成 28 年度 第 5 回 市長と語ろう！笠間タウントーキング 議事録

開催日：平成 28 年 6 月 28 日（火）午後 7 時～8 時 30 分

場 所：福原公民館

出席者：17 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 公民館周辺の環境整備について
- 2 防災無線について
- 3 少子高齢化について
- 4 出会いの場の創出やサポート体制について
- 5 婚活イベントの周知について
- 6 下水道計画について
- 7 合併浄化槽の汲取り業者について
- 8 近隣市町の汲取り業者への依頼について
- 9 イノシシ対策について
- 10 電気柵の助成金について
- 11 県営福原住宅について
- 12 笠間稲荷門前通りについて
- 13 昭和館について
- 14 区長や民生委員の負担について
- 15 道路の愛称について
- 16 道路計画について
- 17 柵山の東屋の再建について
- 18 ふるさと納税について
- 19 敬老会について

1 公民館周辺の環境整備について

【意見等】

公民館のグラウンドに鉄棒を設置してほしい。公民館のすぐそばの停止線が消えている。桜の木が枯れていて枝が倒れてきたので対応してほしい。イチョウの木も桜の木が大きくなっていて、電線に触れそうになっているので対応できないか。

【回答】

公民館の敷地の管理に関しては、館長と相談して、必要なものは対応するよ

うにします。また、停止線についても確認します。

2 防災無線について

【意見等】

防災無線が聞こえないことがある。また、内容が有害鳥獣駆除と行方不明者の情報などしかないのので、火事の情報など、もっと流す情報があるのではないか。

【回答】

地域や住宅事情によっては、聞こえにくいことがあります。地形的な事情で聞こえない場合は、戸別受信機を付けたりしています。どのあたりで聞こえないかがわかれば、受信機の設置やスピーカーの向きなどで対応できる場合もあるので、総務課と相談します。

また、防災無線に関しては、国でデジタル化の方向ではありますが、数億円の費用がかかります。最近では、ラジオの性能が良くなっているので、ラジオを配った方がよいのではとの意見もあります。どのような方向性が良いか考えます。

また、防災無線を流す頻度が少ないとのことですが、以前は様々な情報を流していました。しかし、流し過ぎだとの苦情も多く、市では人命に関わる情報のみを流すことに決めました。その結果、現在は有害駆除や認知症の方の行方不明情報などが中心になっています。大雨などの災害時には、流しても聞こえないという事情もあります。また、火事に関しては、電話で情報を得ることができます。ただ、こちらに関しては周知が足りないところもありますので、週報などで周知します。

3 少子高齢化について

【意見等】

少子高齢化の進展は、地域にも影響がある。地域の運動会やお祭りについても、子どもが少ないので親や祖父母の参加者も少なくなり、盛り上がりに欠ける。今後の開催について考えないといけないこともある。このような状況はほかの地域も同じなのか。また、市として少子高齢化にどう対応するのか。

【回答】

少子化によって子どもの数はかなり減っています。合併した10年前には、成人式の対象者は900人ほどでしたが、今は700人ほどに減っています。また、昨年生まれた子どもは540～550人ほどで、急激に減っています。原因としては、晩婚化や結婚しない人の増加があります。

少子高齢化は、笠間だけでなく全国的な課題であり、すぐに解決できる問題ではありません。市としては、さまざまな子育て支援の制度を用意しています。いなだこども園の設立や、中学生以下の医療費の無料化などです。

地域の子ども会やスポーツ少年団、団体スポーツなどは維持するのが大変だと思います。そのような中でも、福原はスポーツ少年団のチームが3つもあるのですごいと思います。団体を維持するためには、子ども会の合併も避けては通れないと考えています。予算は限られていますので、高齢者の方の支援に充てている分を、多少子育て支援に回すといったことも必要かと思います。あらゆる策を子育て支援に投じていき、少しでも少子化の進行を抑えていきます。

また、高齢化によっても課題が出ています。例えば、地域での草刈りができなくなったとの意見もあります。予算に限りがあるので、できることは地域でお願いする必要がありますが、できなくなってきたところは市でも支援をする必要があると思います。

4 出会いの場の創出やサポート体制について

【意見等】

人口が減っているが、市として出会いの場を作ったり、結婚のサポートをしているのか。

【回答】

出会いのマッチングとしては、県の制度があります。市としては、婚活のサポートを行っている民間事業者や岩間ライオンズクラブ、農協などの活動に補助金を出しています。実績としては、カップル数はわかりますが、成婚に至った数までは把握できていません。婚活パーティーに関しては年に4~5回実施されており、毎回、男女計40名ほどの参加者があります。今後も市として支援していきます。

5 婚活イベントの周知について

【意見等】

地域によっては、積極的に婚活のサポートをしているところもあるようだ。私の周りの人に婚活イベントを勧めても、あまり反応が良くない。もっとイベントなどの周知をしてはどうか。

【回答】

去年から笠間市と城里町、栃木県益子町、茂木町で連携して、婚活支援を行っているが、まだ成果は出ていません。仲人になってもらう方（サポーター）

を募集し、成婚につながれば市から謝礼として農産物などを送るという制度も実施しています。

6 下水道計画について

【意見等】

笠間地区や友部地区では下水道の整備が進んでいると聞いているが、福原地区の計画はどうなっているのか。

【回答】

笠間地区は笠間小学校付近、友部地区は旭町、岩間地区は駅の東側で下水を整備しています。住宅が飛び地になるとお金がかかるので、整備する箇所を限定しています。住宅が増えているところは、整備を行っていく予定です。

また、これまでは合併浄化槽の設置に対する補助金は先着順としていましたが、現在は希望者全員に補助金を出すようにしています。

7 合併浄化槽の汲取り業者について

【意見等】

笠間地区の合併浄化槽汲取り業者は2者あったが、1者が廃業し、1者になった。現在は1者で独占状態になっているのではないか。料金も適正なのか。

【回答】

以前は2者ありましたが、空き家が増えたこともあり、1者でも対応できると判断しています。しかし、現状、汲取り量はそれほど減っていません。業者に関しては、接遇のことで苦情も多く、指導をしていますなかなか改善されていません。

業者の数を増やすとなると、浄化槽汲取り業者は法律による保護があり、合理的な理由を示せないと難しいのが現状です。市内の業者であれば、どこの地区の業者でも指定できるという仕組みが良いのではとの意見もあります。そうすれば、3~4者の中から市民が選択できることとなります。市では、平成28年、29年のし尿・ごみ処理に関する見直しの検討会を行います。ここでの議論を待ち、業者の数に関しても結論を出したいと考えています。

なお、料金は業者が決定しており、市が決めているわけではありません。市は業者が示した料金を認可しているだけです。

8 近隣市町の汲取り業者への依頼について

【意見等】

近隣市町の業者には頼めないのか。

【回答】

笠間市が許可した業者にしか頼めません。

9 イノシシ対策について

【意見等】

家庭菜園をしているが、私のところも含めて、近隣の5~6軒の家の菜園がイノシシの被害にあっている。イノシシ対策については、猟友会に任せきりなのか。市としても、重点地区やスケジュールを決めているのか。

【回答】

猟友会のメンバーを中心とした有害鳥獣被害対策実施隊にお願いしています。実施隊のメンバーは特別公務員のような立場で、辞令を交付し、手当を出しています。重点地区やスケジュールには、農政課よりも実施隊の方が生息状況を把握しているので、実施隊に任せていて、市は経費の支援などを行っています。昨年は80数件ほど駆除していますが、生息数がわからないので、イタチごっこのようになっています。また、免許をとれば罠を仕掛けることができます。イノシシが罠にかかったら猟友会に来てもらうようにしています。

10 電気柵の助成金について

【意見等】

駆除してほしい地域の依頼はどのようにすればよいのか。また、電気柵の助成金は家庭菜園でも出るのか。

【回答】

依頼は農政課にお願いします。猟友会については、高齢化が進み若い方もいないので、機敏には動けないこともあり、多少お待たせする場合があります。電気柵の助成については、農地が対象となっています。ですが、市民が困っているのだから、農地でない家庭菜園などでも対象にするべきではないかと思えます。

11 県営福原住宅について

【意見等】

県営の福原住宅に空き部屋が多い。入居の基準が厳しいので、入居者が集まらないのだと思う。県営住宅は20部屋くらい、市営住宅は3部屋くらい空いて

いる。

【回答】

県営、市営の住宅に入居するには収入の基準などがあります。市でも基準がありますが、だいぶ前に決めたので、現在の社会状況にそぐわないところがあるかもしれません。県営住宅に関しては、見直すとなると県全体の基準の見直しが必要になります。まずは市の基準を確認してみます。

12 笠間稲荷門前通りについて

【意見等】

笠間稲荷門前通りを工事しているが、歩行者天国にした方が良いのではないかと。また、駐車場の呼び込みの雰囲気良くないと感じる。

【回答】

市としては歩行者を優先して、一方通行にしたかったのですが、地元との調整がうまくいきませんでした。結果として、車が通行可能な最小の幅にして、歩道を広げて整備しています。ポールが邪魔だという意見もありますが、スピードを出させないように設置しています。

呼び込みについては、以前駐車場の方々に集まっていただき、対策をお願いしましたが、あまり改善されていません。もう一度、話をしてみます。せめて半纏を統一したり、誘導棒を工夫したりするだけで、だいぶイメージが変わるのではないかと思います。

13 昭和館について

【意見等】

長年空き家になっているがなんとかならないか。

【回答】

所有者が少しずつ解体を行っています。大きな建物ですので時間はかかるかもしれませんが。空き家については、法律によって、最終的に役所が壊し、費用を所有者に請求できるようになりました。ただし、費用を払ってもらえるかわからないので、どこの自治体もなかなか解体に踏み込めないのが現状です。市では空き家の適正管理、草刈りなどを所有者にお願いしていますが、所有者が地元に住んでいない場合は難しいのが現状です。

14 区長や民生委員の負担について

【意見等】

行政ができない部分を、地域でお願いしたいと言われるが、区長や民生委員の仕事の負担は増えているのか。

【回答】

民生委員などの役割は増えています。負担が増えないようにどうすべきか、検討しています。成り手がいないのは全国的な課題です。区長は 340 人ほどいますが、これ以上増やすのも難しく、行政区の合併を進めている方向です。また、民生委員の下に補助員を置いてはどうかとの意見をいただくこともあります。しかし一方で、補助員を置くなれば民生委員を増やした方が良いとの意見もあり、どうしたら良いかは検討します。現状、ひとりの方が区長、社協の役員、民生委員を掛け持ちされている方もいますので、今後の制度の見直しについて、先進事例を含めて勉強します。

15 道路の愛称について

【意見等】

笠間西インターチェンジを降りてから国道 50 号までの通りに、「福原表通り」など名前を付けたらどうか。また、病院のある通りを「福原あさひ通り」にするなど。

【回答】

メインの通りには、愛着のわく名前が付いていても良いかと思います。担当課で検討させます。

16 道路計画について

【意見等】

団地を南から北へ進む道路は、幅員は狭いが交通量が多い。いずれは国道 50 号に接続する計画はあるのか。

【回答】

計画はありましたが、線路を跨ぐ必要があるため、できなかった経緯があります。線路を跨ぐために踏切を造る場合は、別の踏切との距離が近くなるので、JR からの許可が降りませんでした。また、高架橋も、道路の幅員や橋を架ける距離の問題があり造れませんでした。そのため、市では今後も国道 50 号に接続する計画は持っていません。

17 柗山の東屋の再建について

【意見等】

柗山の山頂に東屋があったが、4～5年前に壊れ、危険なので商工観光課に撤去してもらった。再建は先になると言われたが、再建の予定はいつになるのか。

【回答】

すぐに造れるかはわかりませんが、区長を通して要望を頂ければと思います。

18 ふるさと納税について

【意見等】

ふるさと納税の納税額はどのくらいか。

【回答】

納税額が多いのは境町や日立市で7～8億円です。笠間市は2,400～2,500万円です。他市で人気のある商品は、魚介類や肉類、家電です。農作物はどこにでもあるので、意外と人気が無いようです。笠間焼はやはり触って選びたいというのがあるのではないかと思います。境町では、他の産地のものをうまく利用しています。今後、境町の事例などを勉強します。市のふるさと納税に協力していただいている方には感謝しています。

19 敬老会について

【意見等】

敬老会の対象年齢を75歳以上にしてはどうか。75歳では早いと感じる。

【回答】

年齢を上げると参加者が少なくなることもありますので、現状を維持していきます。